

特定非営利活動法人 パワーアップ支援室

活動場所：岩手県北上市和賀町（復興支援ハウスおらえ）、釜石市甲子町（応急復興仮設団地）

活動期間：平成 30 年 7 月 2 日～平成 30 年 9 月 30 日

事業概要：花と緑を核としたコミュニティの醸成を図るとともに、被災者の新たな公共的空間を創造する事業。



「復興支援ハウスおらえ」

- ・活動日数（事業期間内のみ） 合計 56 日（作業～植栽 36 日、植栽～管理 20 日）
- ・活動のべ人数（事業期間内） 144 名

復興支援ハウスおらえにおける花壇の新設は、大規模な制作になると見越したことから、雪解け後 4 月初旬より、資金をかけずにでき、かつ、この事業を実施するにあたり必要となる諸準備を進めました。具体的には、花壇におけるデザイン素案や植栽図素案の作成、近隣住民より無償で寄付いただいた伐倒した樹木の加工となります。これはこの事業全般において天候が大きく関わること、昨年実施した本プロジェクトの反省点・改善点に基づくもので、既存のものや天然のものを使用し実施しましたので、採択前の活動でもあることから、計上すべき事業費は発生いたしておりません。

復興支援ハウスおらえに新設した花壇は、東日本大震災により被災した沿岸部の住民、近隣住民、この活動に賛同し各地から集ったボランティア、当法人関係者といった幅広い協働のもとで制作されました。オリジナリティと自然資源の再活用を重視し、廃材や伐倒した樹木をふんだんに利用するとともに、花の生命を守り育てながら、共同作業によって参加者の心やコミュニティを育むことを重視しました。2018 年のこの花壇は、多様な作り手によって新設された花壇であることから、「共創～一歩先進～」と命名しました。

また、北上市花いっぱいコンクールに応募したところ最優秀賞を受賞し、被災者が歓喜するとともに、心の復興への一助を図ることができています。

「釜石市甲子町第 2 応急仮設団地」

- ・活動日数合計 10 日（作業～植栽 5 日、植栽～管理 5 日（以降は住民へ引き継ぎ。））
- ・活動のべ人数 25 名

昨年の花壇の新設以来、花壇周辺はコミュニティにおける重要なスポットとなっているものの、本仮設団地は解体される方針だったため、タイトルを「ありがとう」と名付け、昨年の花壇及び周辺を整備し、百花繚乱に植栽を行いました。植栽にはこの仮設団地の元住民も参加し、避難所から本仮設団地へ移り、同じ団地内で生活した住民同士、久しぶりの再会を喜ぶ光景が見受けられました。甲子町第 2 仮設団地は、被災地域における土地のかさ上げ工事の影響で、来年 3 月の解体予定が変更となり、供与期間が 1 年予定で延長となりました。

よって、2019 年度を本プロジェクトの最終章として位置づけ、甲子町において、被災者が集う新しい花と緑のスポットを創造してまいります。